

# プロジェクト報告書

団体名: 社会福祉法人イースターヴィレッジ

自立援助ホーム マルコの家

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. プロジェクト名

利用者研修旅行

## 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

修学旅行や家族旅行の経験の乏しい利用者達が、自己の経験不足による負い目を感じることなく、自立して欲しいという思いと、10代にして仕事中心の生活を送る自分の頑張りを認められる事は、自己肯定感を育む一助になるのではないかという思いから、計画致しました。厳しい現実から、ひと時離れ、これまでは生い立ちの中で諦めるしかなかった様々な体験を通し、仲間と楽しい思い出をつくる事が、更なる生きる意欲につながるものと考え、利用者の研修旅行を実施致しました。

## 3. プロジェクトの内容 300文字まで

申請当初は、就労安定した利用者全員での「沖縄旅行」を計画致しましたが、一部の利用者は経験不足による不安から「沖縄は遠すぎる」という率直な意見が吐露されました。家から離れるには、経済的な側面だけでなく、精神的な成熟も必要であると考え「2泊3日の沖縄旅行」と「1泊2日のTDR」の二つを設定し、利用者自身に自分の参加したいものを選んでもらうことにしました。沖縄では、美しい自然と、文化遺産に触れ、TDRではホテルに宿泊して、2日間パークを楽しみました。

## 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

自分が頑張った成果として旅行に行けた、という自信をもって欲しいと考え、利用者にも参加費の一部を負担してもらいました。また、自分の意思で旅行先を選んだことで、直前のキャンセルや不満もなく、楽しい旅行となりました。これまでの生活の中で、利用者の入浴の仕方について懸念していた点があったことから、大浴場付きのホテルを選択しました。スタッフが自然な形で利用者と一緒に入浴することができ、髪や身体の洗い方について話す機会を得ることができました。

## 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

一人立ちを間近に控えた、沖縄旅行組は「貯金して、また沖縄に来たいな。次は海外もいいな」と、次の目標を定め夢を膨らましていました。利用者たちの生い立ちには辛い事が多かったと思いますが、沖縄の海を見ながら「こんな綺麗な景色が見られて、生まれて来て良かった」と、言葉にする事ができました。TDR組も、初めて皆で旅行した事で、お互いの距離が縮まり、帰宅後は相手を気遣う様子が多く見られるようになり、ホーム内の雰囲気も穏やかで、明るいものになりました。

## 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

沖縄旅行



東京ディズニーランド・東京ディズニーシー

